

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		令和元年第7回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		令和元年7月18日（木）		場 所	教育長室		
会 議 時 間		（開会）午後1時30分～（閉会）午後3時00分					
休 憩 時 間		①（休憩）午前・午後 時 分～（再開）午前・午後 時 分 ②（休憩）午前・午後 時 分～（再開）午前・午後 時 分					
委員の出席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	吉原 慎吾	出席	委員	中惣 恭子	出席
		委員	勝木 克子	出席	出席委員 4名 欠席委員 0名		
出席説明者	教育次長 吉田 均		出席	シニアマネージャー 道端 祐一郎		出席	
	未来の教育課兼教育研究センター所長 中谷 光恵		出席	図書館長兼南部図書館長 山本 裕		出席	
	教育庶務課長 東谷 勝美		出席	教育庶務課 専門官 唐木 和也		出席	
	学校教育課長 廣田 恵子		出席	市立高校 事務長 三ツ橋 薫		出席	
	青少年育成課長 松野 真弓		出席	ひととものづくり科学館 副館長 浅野 幸恵		出席	
	図書館副館長 山崎 みどり		出席	博物館・美術館館長 二木 裕子		出席	
	教育庶務課 参事 中屋 清志		出席				
書記							
傍 聴 者		0 名					
会議に付した議題	【議案】						
	議案第18号 教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成30年度事業対象）						
	について（教育庶務課）						
	議案第19号 小松市立学校管理規則の一部を改正する規則について						
	（学校教育課）						
	【報告事項】						
	・博物館・美術館の展覧会について（博物館・本陣記念美術館・宮本三郎美術館）						
	・小松市学校通学区域検討委員会について（未来の教育課）						
	・中学生サミット第1回実行委員会について（未来の教育課）						
	・図書館行事について（図書館）						
	・市史編纂事業について（図書館）						
	・ウォームアップ週間取組計画について（学校教育課）						
	・寄附受納について（市立高校）						
	・平成30年度放課後児童クラブ自己評価の公表について（青少年育成課）						
	・第22回日本こども歌舞伎まつり i n小松 子供歌舞伎「勸進帳」実施計画						
について（青少年育成課）							

会議に付した議題	・ひととものづくり科学館6月報告について（ひととものづくり科学館）
	・南極教室について（ひととものづくり科学館）
	・サイエンスヒルズこまつイベント（7～10月）について（ひととものづくり科学館）

教 育 委 員 会 報 告

令和元年 7 月 18 日

【議案】	
議案第 18 号 教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成 30 年度事業対象）について	
所 管 部 課 名	教育庶務課
内 容	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき教育委員会の事務事業を点検・評価した報告書を作成。 学識経験者の活用にあたっては前年度に引き続き公立小松大学に依頼し、横川副学長より、①教育行政全般において瑕疵がなく概ね良好に執行、②数値が難しい教育活動では質的な部分において経年フォローが必要、などの講評を頂いた。 88 事業をアクションプランに定める 6 区分に分類し、PDC Aサイクルにより「A」から「D」に評価。84 事業（95.5%）において事業目的を達成できたと評価。 ※ 点検・評価報告書については資料参照。
教育委員等の意見	【北村委員】 各所属での温度差があるように感じるため、教育委員会全体で点検、評価をする必要がある。 基礎学力の定着での数値目標が過大なのではないか。目標と現実乖離(H30 目標 75%, 実績 50%)があると思うが、目標の達成は可能なのか。 目標値の内容を整理することが必要なのではないか。 松東みどり学園の在り方については、地域の声を反映する、丁寧な説明で地域の理解を得る、ことに留意して欲しい。
回 答	【石黒教育長】 全ての児童・生徒に基礎学力が定着することを前提として各学校が取り組んでいるため、目標としては「100%」を目指すべきと考える。数値の乖離自体が問題と捉え、基礎学力定着を図っていきたい。 【廣田学校教育課長】 授業をとおして基礎学力の定着に繋がったかが課題。現在、基礎学力定着の基準を推進校中心に作成中。
	議案第 18 号 承認

議案第 19 号 小松市立学校管理規則の一部を改正する規則について	
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	学校において作成する帳票の追加，保存年度の見直しに伴う学校管理規則の改正。
教育委員等の意見	特になし
	議案第 19 号 承認
【報告事項】	
件 名	博物館・美術館の展覧会について
所 管 部 課 名	博物館・本陣記念美術館・宮本三郎美術館
内 容	博物館・本陣記念美術館・宮本三郎美術館において次の展覧会を開催。 ・博物館 博物館が所属する動物標本展示，はく製の作り方などを紹介する「博物館コレクション展 動物標本と小松のいきもの」を開催。 ・本陣記念美術館 華道，香道，茶道など芸事を「あそび」として楽しむための工芸品を紹介する「あそびの工芸 花・香・茶…」を開催。 ・宮本三郎美術館及び宮本三郎ふるさと館 4つの課題を解決し美術作品を多様な見方で楽しむ「絵画であそぼ！」を開催。新規購入した宮本三郎作品を初展示。（宮本三郎美術館） 宮本三郎が幼少期の思い出を描いた画帳，疎開中描いた風景画を紹介する「おもひでー宮本三郎が子どもだった頃ー」を開催。（宮本三郎ふるさと館） ・尾小屋鉦山資料館 尾小屋鉦山鉄道開業 100 年を記念した「追憶 尾小屋鉄道」を開催。
教育委員等の意見	【北村委員】 予算の制約があるなかで工夫をした展示を行って欲しい。博物館，美術館の所蔵品を市の文化レベルを向上するため様々な場所で展示することも検討する必要があるのではないか。

	【吉原委員】 過去３年の入館者が下降している実態がある。企画展等の周知方法，スタンプラリーやミュージアムパスなどのリピーター確保策を検討する必要があるのではないか。 【中惣委員】 文化の発信が弱いとの声がある。博物館等で毎回，多くの企画を行っているが，ＰＲ方法等を検討して欲しい。
回 答	【二木博物館館長】 子供を対象にした企画は，各自にわたるように配布を行っていることから反応は良い。大人向けの周知が課題と考えており，ＳＮＳを活用した広報も実施しているが，現在のところ反応が少ない状況。
件 名	小松市学校通学区域検討委員会について
所 管 部 課 名	未来の教育課
内 容	小中学校における望ましい教育環境の整備，適正規模などを検討するため平成 29 年度に「小松市通学区域検討委員会」を設置。５回の検討委員会を開催し，意見等を取りまとめた報告書を作成。報告書の主な内容は次のとおり。 ・複式学級の解消 ・小学校を優先に検討 ・児童数 100 人程度を統廃合の基準 今後，報告書を参考に具体的な検討を行う予定。
教育委員等の意見	特になし
件 名	中学生サミット第１回実行委員会について
所 管 部 課 名	未来の教育課
内 容	６月４日，芦城中学校において第１回中学生サミット実行委員会を開催。市内中学校より実行委員 40 名が参加し，グループワークを実施。 今後の取り組みとして，①人間関係やいじめに関する各学校での取り組み，②動画作成，③通信発行，④小学校へ活動を広める，などを実施する。
教育委員等の意見	特になし

件 名	図書館行事について
所 管 部 課 名	図書館
内 容	7月23日から8月30日まで開館時間を9時から19時までに拡大。 ・主な図書館行事は次のとおり。 友の会主催の新企画「としょかん探検」（7月3日）。 第5回ビブリオバトル高校生大会（8月3日）。 キッズ講座「マイン200℃の世界」（8月3日 南部図書館） ・主なテーマ展示は次のとおり。 文学忌～野の花忌～（7月2日～7月31日） なつのげんきの素（7月4日～7月31日） 冬まっただなか！南半球を知ろう（7月9日～7月31日）
教育委員等の意見	特になし
件 名	市史編纂事業について
所 管 部 課 名	図書館
内 容	中森勉金沢工業大学教授を講師に招き、「小松市の農家建築」をテーマに第89回市史講座を開催（7月4日）。 7月25日に「新修 小松市史 資料編16 教育」を発刊予定。前日に完成報告会を行う予定。 市史編纂事業は、令和4年度をもって完了予定。
教育委員等の意見	特になし
件 名	ウォームアップ週間取組計画について
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	今年度、5月に10連休があったことから今年度のウォームアップは授業日数として取り扱うこととした。 実施校は、小学校22校、中学校10校。小学校のうち蓮代寺小学校は改修工事の関係で今年度は実施しない予定。
教育委員等の意見	【北村委員】 校舎改修でウォームアップを実施しない学校があるが、ウォームアップ実施の趣旨を考慮して、近隣の公共施設活用などに

	よる創意工夫が必要なのではないか。 また、保護者にウォームアップ週間の趣旨や実施時期の周知を徹底して欲しい。 【勝木委員】 ウォームアップを実施しない学校は他の学校と比較して授業日数が少なくなるのか。
回 答	【廣田学校教育課長】 授業日数は確保できている。今年度は、5月に10連休があったこと、また、冬期間の積雪等を考慮すると3学期に授業日数の確保が困難となる可能性を見越してウォームアップ期間を授業として取り扱うこととしている。ウォームアップを実施なし学校は、別の方法で授業日数の調整を行う予定。
件 名	寄附受納について
所 管 部 課 名	市立高校
内 容	小松美術作家協会より「第59回小松美術展」の収益の一部（100千円）が、市立高校芸術コース充実のために寄付された。寄附金を基に「イーゼル」の更新を行う予定。
教育委員等の意見	特になし
件 名	平成30年度放課後児童クラブ自己評価の公表について
所 管 部 課 名	青少年育成課
内 容	各クラブによる自己評価、青少年育成課による実地調査を行い、結果を8月に市ホームページに公表する予定。 「A」から「B」へ自己評価が低下してクラブがあったため前年度と比較し、「A」評価の割合が下がった。評価項目の統一を目的に項目を細分化したことが低下要因と考えられるため、質の低下による自己評価低下ではない。
教育委員等の意見	【北村委員】 市の指導体制、クラブの教育体制は。
回 答	【松野青少年育成課長】 保育面では、県主催研修会、市主催研修会（2か月の1回）を通じて児童への対応の理解を深めている。また、運営面では不備事項等についてモデルケースの提供等を通じて必要な書類の整備や財務処理を指導している。

件名	第22回日本こども歌舞伎まつり in 小松 子供歌舞伎「勸進帳」実施計画について
所管部課名	青少年育成課
内容	実行委員会において、次年度の日本こども歌舞伎まつりを次の日程で開催することが決定。 開催日時 令和2年5月4日（月）、5日（火） 出演者については、現在、募集中。 また、選考会、結団式等は例年どおりの日程で実施予定。
教育委員等の意見	特になし
件名	ひととものづくり科学館6月報告について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	3月に協定を締結した国立極地研究所より講師を招いた「プロフェッショナルトーク」を実施（6月23日） 外部講師を招いた体験教室を3回実施（詳細は資料参照）。
教育委員等の意見	特になし
件名	南極教室について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	協定締結に基づく2回目の企画として8月10日（土）に南極との直接交信を行う「極地から、こんにちは！」を開催。 40年前の観測隊員と現在の観測隊員の話を比較し、極地の変化を知ることができる。
教育委員等の意見	特になし
件名	サイエンスヒルズこまつイベント（7～10月）について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	夏休み特別企画として最新の映像技術にふれるVR、AR体験を開催する予定（8月1日～25日）。 夏休み期間中は、外部講師、ヒルズスタッフによる体験教室

		を毎日開催予定。
教育委員等の意見		【勝木委員】 科学の裾野を広げるためには幼児期から興味を持つことが必要と考えるが、幼児向けの番組等を実施する予定はないか。
回	答	【浅野ひととのづくり科学館副館長】 これまでも幼児向けの番組は実施している。幼児向けに限定せず、幼児も楽しめる番組、大人も楽しめる番組を織り交ぜて実施している。
【その他】		
件	名	次回教育委員会議日程について
内	容	日時：8月20日（火）午前10時30分 場所：小松市役所 6階 教育長室
【教育委員からの意見・提言】		
北村委員		点検・評価報告書を作成することが目的ではなく、教育施策の充実等に活用して欲しい。
吉原委員		特になし
中惣委員		学校や勉強の必要性を児童，生徒に周知して欲しい。
勝木委員		特になし